

令和5年度

シラバス(専門教科)

～農林技術科 3年～



鹿児島県立伊佐農林高等学校

農林技術科 3年 専門教科

課題研究	P 1
総合実習	P 3
作物	P 5
野菜	P 7
畜産	P 9
農業経営	P 11
農業機械	P 13
食品製造	P 15
食品流通	P 17
森林経営	P 19
林産物利用	P 21
測量	P 23
グリーンライフ	P 25

課題研究	単 位 数	3 単位
	学科・学年・学級	農林技術科・第3学年・各専攻

1 学習到達目標等

学習の到達目標	(1) 生徒自ら課題を設定して計画を立て実施することで、計画性、実践力及び問題解決の能力を養います。 (2) 自主的、継続的に学習することで探求的、創造的な態度と能力を身に付けます。 (3) 課題解決により、成就感と自信を持つことで、自己実現を図る能力と態度を身に付けます。
使用教科書・副教材等	各専攻によって異なる。

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学習のねらい	備考（学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など）
1 学 期	課題発見とテーマの決定 計画（計画の立案） 実施（学習活動）	4	・課題研究の意味を理解します。	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の専門教科での学習を基本に担当教員と綿密に打ち合わせをします。 ・計画に従い無理の無いよう実施します。
		5	・自分の専攻班の中で課題を見出し、研究テーマを決定します。	
		6	・テーマに従って課題解決の計画を作ります。	
		7	・計画に従って学習活動を行います。	
【課題・提出物等】 <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ及び計画書を提出します。 ・実施日誌等を提出します。 				
【第1学期の評価方法】 <ul style="list-style-type: none"> ・学習に取り組む態度や意欲（服装、出席状況、提出物等）により評価します。 				
2 学 期	実施（学習活動） 学習のまとめ 発表原稿の作成	9	・1学期に引き続き活動を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・実施の状況を担当教諭と連携をとり的確な実践になるようにします。 ・得られた結果が適切に理解できるようにまとめをします。
		10	・学習結果に従い結果をまとめます。	
		11	・発表に備え、原稿のまとめやプレゼンテーションの作成を行います。	
		12	・データの分析や考察の検討を通して、論理的思考を身に付けます。	
【課題・提出物】 <ul style="list-style-type: none"> ・実施日誌等を提出します。 ・課題研究のまとめを提出します。 				
【第2学期の評価方法】 <ul style="list-style-type: none"> ・学習に取り組む態度や意欲（服装、出席状況、提出物等）により評価します。 				

3 学 期	研究発表	1 2 3	・作成した原稿とプレゼンテーションを用いて発表します。 ・研究冊子 まとめ	・結果を整理し的確な発表を行います。
	【課題・提出物等】 ・実施日誌等を提出します。 ・課題研究のまとめを提出します。			
	【第3学期の評点方法】 ・学習に取り組む態度や意欲（服装，出席状況，提出物等）により評価します。			
【年間の学習状況からの評価方法】 1学期の成績，2学期の成績及び3学期の成績を総合し，年間の学習成績とします。				
確かな学力を身に付けるためのアドバイス		農業科目という一つの観点で見るのではなく，その他の科目（国語や数学など）の観点からも見つけ考えなければならない。苦手分野もこの課題研究に取り入れることによって，自分の学力につなげてもらいたい。		
授業を受けるに当たって守ってほしい事項		普段疑問に思っていたことや研究してみたいことを課題とし，その課題解決のために様々な観点から考察できるように，普段から積極的に授業に取り組んでもらいたい。		

(2) 評価の観点，内容及び評価方法

皆さんの学習状況は，「知識・技能」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	・課題解決に向けての実習や実験内容の基本的な知識を理解し，そのための技術が身に付いている。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・発表 ・記録簿（まとめ・考察・感想）
思考・判断・表現	・課題を多面的にとらえ考察を行っている。 ・課題を科学的にとらえ合理的に解決する実践的な態度を身に付いている。 ・結果の考察などが正確に表現できるか。	・レポート （日誌のまとめ，考察・感想）
主体的に学習に取り組む態度	・課題の設定や計画立案を積極的で，解決に向けて協働的に取り組む態度が身についている。 ・実習に対する服装や姿勢が，良好で意欲に学習している。	・実験の進め方 ・器具の取扱い ・レポート （日誌のまとめ，考察・感想）

3 担当者からのメッセージ

- ・実習での調査，観察，スケッチ，教室での講義，実験室での実験など様々な形態での学習を行います。
- ・1，2年での学習のときに課題をあらかじめ見つけるようにしましょう。
- ・実験や実習などを通して今まで見つけられなかった自分自身の素晴らしい点を見つけましょう。

<p>【課題・提出物等】 毎回の総合実習のレポート提出</p>
<p>【三学期の評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出席点 ・ 農業技術検定結果 ・ 毎回の実習態度 ・ 農業クラブ各種発表大会への参加と結果 ・ 毎回のレポート提出
<p>【年間の学習状況からの評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1・2・3学期の平均点を基準とする。 ・ 出席点レポートと出席点，平常点を参考にする。 ・ 各専攻班の先生方の評価も含む。

<p>確かな学力を身に付けるためのアドバイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業技術検定を繰り返し勉強し，合格の目標を持って真剣に取り組んでください。 ・ 授業で学んだ事をレポートに書きとめ，積極的に質問して下さい。
<p>授業を受けるに当たって守ってほしい事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業はチャイムと同時に始めますので，時間厳守で集合して下さい。 ・ 実験・実習の際は道具などの取り扱いには万全の注意をして下さい。 ・ 授業の最後は後片付けをしっかりとして下さい。 ・ 校外での実習等ではマナーをしっかりと守って下さい。

(2) 評価の観点，内容及び評価方法

皆さんの学習状況は，「知識・技能」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各専攻に関する基礎的な知識と技術を身につけ，特性と社会環境の関係や育成の過程等を理解しているか。 	日本農業技術検定レポート
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理の記録を分析するなど課題を多面的に考察しているか。 ・ 見出した課題を科学的にとらえて合理的に解決する実践的な能力を身につけているか。 	意見発表 測量競技 家畜審査競技 レポート
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各専攻学習に興味・関心を高めているか。 ・ 各専攻に関するプロジェクトを主体的に行うなど課題の探求に意欲的に取り組むとともに，その課題を科学的にとらえて合理的に解決しようとする実践的な態度を身につけているか。 	プロジェクト発表 農業鑑定競技 レポート

3 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業技術検定を通して，基本的な知識の習得から専門的な知識の理解を深めましょう。 ・ 農家や企業などの訪問を通して，地域との関わりを深め，地域農業を活性化しましょう。 ・ プロジェクト発表や農業鑑定競技等の各種競技大会に積極的に参加し，自らの力を発揮しましょう。
--

作物	単 位 数	2 単 位
	学科・学年	農林技術 科 第 3 学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	1 作物の栽培と経営に必要な知識と技術を習得します。 2 作物の特性や栽培に適した環境を理解し、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てます。
使用教科書・副教材等	教科書：実教「作物」

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学習のねらい	備 考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査
一 学 期	○授業内容と評価方法の説明	4	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間の学習の流れを理解し、評価方法について知る。 ・作物栽培の歴史や食品の価値について学びます ・フードシステムに関して、農業生産工程管理（GAP）等について学びます。 ・作物の種類と分類、生育と生理について学びます ・生育に影響する環境要因、気象要素、栄養などについて学びます ・栽培の現状と特性、生育と環境要因、栽培管理の実際について学びます 	<ul style="list-style-type: none"> ・作物の種類や特徴をノートにまとめます。 ・体験的な学習や技術検定問題集を用いて作業のポイントを学習します。 ・実習が中心となります。 	中間 考査
	1 作物生産の役割と動向	5			期 末 考査
	(1) 作物とは	6			
	(2) 作物栽培の動向	7			
2 作物の特性と栽培技術					
(1) 作物の種類と生育					
(2) 栽培環境と生育の調節					
3 イネ					
(1) 栽培特性と栽培管理					
【課題・提出物等】 1 授業中に使用するプリント、ノートを各段階で提出します。 2 実験・実習についてはレポートを作成し、自己評価を行い、提出します。					
【第1学期の評価方法】 定期考査の成績（中間考査と期末考査）を概ね70％、その他平常点として出席状況、授業態度、実習態度、提出物（ノートやレポート）の状況を30％とし評価します。					
二 学 期	(2) 栽培計画と経営	9	・栽培計画と評価、稲作経営の特性と生産物の流通について学びます	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を中心に、病気や植生について観察し、学習を深めます。 ・座学が中心になります。 	中間 考査
	4 麦類	10	・栽培の現状と特性、生育と環境要因、栽培管理と経営の実際について学びます		期 末 考査
	5 トウモロコシ	11	・栽培の現状と特性、生育と環境要因、栽培管理と経営の実際について学びます		
	6 豆類	12	・ダイズ、アズキ、ラッカセイの栽培特性と栽培管理について学びます		
	7 いも類		・ジャガイモ、サツマイモ、サトイモ、コンニャクの栽培特性と栽培管理について学びます		
【課題・提出物】 1. 授業中に使用するプリント、ノートを各段階で提出します。 2. 実験・実習についてはレポートを作成し、自己評価を行い、提出します。					
【第2学期の評価方法】 定期考査の成績（中間考査と期末考査）を概ね70％、その他平常点として出席状況、授業態度、実習態度、提出物（ノートやレポート）の状況を30％とし評価します。					

三 学 期	8 その他の作物	1	・雑穀類、糖料作物、油料作物、嗜好作物、繊維作物、 香辛作物の種類と栽培特性について学びます	・座学が中心になり ます。 ・技術検定問題集で 学習を深めます。	学 年 末 考 査
	9 作物の流通と経営改善	2	・流通のしくみと経費、経営の診断と改善について学び ます		
		3			
【課題・提出物等】 1. 授業中に使用するプリント、ノートを各段階で提出します。 2. 実験・実習についてはレポートを作成し、自己評価を行い、提出します。					
【第3学期の評点方法】 定期考査の成績（中間考査と期末考査）を概ね70％、その他平常点として出席状況、授業態度、実習態度、提出物（ノートやレポート）の状況を30％とし評価します。					
【年間の学習状況の評価方法】 1学期の成績、2学期の成績及び3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。					

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	(1) 科書を読むなどして予習をしましょう。 (2) 授業時間内の指導者の指示をよく聞き、指示された内容に集中して取り組む姿勢を持ちましょう。 (3) 地域の農業の状況も観察し、学校農場の栽培状況と比較し、異なる点については調べてみましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	(1) 座学においては、教科書・ノート・プリント綴り、実習においては、実習服など学習に必要な道具の準備を忘れないこと。 (2) 授業中の指導者の指示に従うこと。特に、実習においては注意されたことを守ること。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	作物の生育と環境の調節及び作物栽培の計画、管理、評価など作物の栽培と経営に関する基本的、体系的な知識を身につけ、作物の栽培的、経営的特性と栽培技術を理解しているか。また、栽培の計画、管理、評価を適切に実施するとともに、作物の生育診断や栽培技術の評価など栽培や経営の状況を的確に表現できるか。	定期テスト 農業生物、農具の取り扱い方 レポートの記入内容 農業鑑定の成績 発表の内容や仕方
思考・判断・表現	作物の特性と栽培環境などから作物の生育状態を多面的に考察し、その生育状態に応じた栽培管理を科学的に判断するとともに、栽培管理や作業体系を改善するなど品質と生産性の向上を図る創造的、実践的な能力を身に付けているか。	発表の内容や仕方 授業内でのプリント 自己評価表 レポートの内容
主体的に学習に取り組む態度	栽培技術の仕組みや作物生産の役割など作物の栽培と経営に関心をもち、生育状態に応じた栽培管理をおこなうなど作物生産に主体的に取り組むとともに、栽培管理や作業体系を改善するなど品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に付けているか。	学習活動への参加の仕方や態度 ノートの記入状況 観察記録 授業でのプリント 自己評価表

3 担当者からのメッセージ

- (1) 水田や畑での調査・観察、スケッチ、教室での講義、レポート作成、グラフ作成など様々な形態の学習を行います。
- (2) 指示をよく聞いて、提出物は必ず出しましょう。また、学習道具や実習服などの学習に向けての準備するものを忘れないことが大切です。
- (3) 1年次の「農業と環境」の栽培部門で学習した内容が、この「作物」の授業でさらに深まります。体験的、科学的な学習をとおして、さらに知識と技術を身につける努力をしましょう。

野 菜	単 位 数	2 単 位
	学科・学年	農林技術科・第3学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	<p>1 農業科学基礎で習得した栽培に関する基礎的な知識と技術を発展させながら、野菜を対象に、総論から各論までを体験的な実験実習を通して、深い知識と技術をさらに習得させる。</p> <p>2 これらの知識や技術をもとに、農業の各分野の発展に貢献する能力と態度を育てる。</p>
使用教科書・副教材等	野菜 (実教)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等の関連など)	考 査	
一 学 期	野菜の生産と利用 1 人間生活と野菜 2 野菜の生産と消費の動向 野菜の生育と品質 1 種子と発芽 2 根の発達と肥大 3 茎葉と花芽の生育 野菜栽培の実際 1 ナス科野菜の栽培 2 ウリ科野菜の栽培 5 各野菜の栽培 (ネギ)	4 5 6 7	<ul style="list-style-type: none"> 人間生活においての野菜の役割を学んだ上で、生産と消費の動向から食品価値を理解させる。 野菜の生育と品質について学習し理解させる。 春作野菜の基本的な性質から、各果菜類(ナス科、ウリ科)葉菜類(ネギ)の栽培知識と技術を理解させる。 地域の代表作物である深ネギ栽培を発展させ、地域の気候を生かした応用的な栽培法を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループで担当する箇所と、個人で担当する箇所を作り、それぞれの実習の意味を理解します。 農家体験実習や地域環境調査を踏まえ、より発展的な栽培方法を考え実践します。 	中間 考 査 期 末 考 査	
	<p>【課題・提出物等】</p> <p>1 授業中に使用するプリント、ノートを各段階で提出します。</p> <p>2 実験・実習についてはレポートを作成し、自己評価を行い、提出します。</p>					
	<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>1 毎時間の学習時間への取り組む態度や課題の提出状況と学習に取り組む態度や関心・意欲などで評価します。</p> <p>2 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において、観点ごとの総括的評価を行う。</p>					
	二 学 期	野菜栽培の実際 3 アブラナ科の野菜の栽培 5 野菜の栽培 (タマネギ・レタス) 野菜の栽培と環境管理 1 野菜の健全な生育と環境 2 土壌管理と施肥 3 被覆資材の利用 4 施設栽培と環境管理 6 有害生物 (病害虫、雑草)の管理	7 9 10 11 12	<ul style="list-style-type: none"> 秋作野菜の基本的な性質から、気候条件を生かした各葉菜類(アブラナ科)の栽培知識と技術を理解させる。 タマネギ・レタスの栽培知識と技術を理解させる。 野菜栽培の土壌管理と施肥について知識と技術を理解させる。 被覆資材(マルチング材)について知識と技術を理解させる。 有害微生物の種類と特性を学び、防除法を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各野菜の特性を知り、市場調査を行います。 季節に応じた野菜の利用法と販売方法を理解するために、学外や対外的な行事に参加します。 野菜の栽培管理実習をとおして、施肥等の土壌管理を行います。 有害微生物の観察を行います。 	中間 考 査 期 末 考 査
<p>【課題・提出物等】</p> <p>1 授業中に使用するプリント、ノートを各段階で提出します。</p> <p>2 実験・実習についてはレポートを作成し、自己評価を行い、提出します。</p>						
<p>【2学期の評価方法】</p> <p>1 毎時間の学習時間への取り組む態度や課題の提出状況と学習に取り組む態度や関心・意欲などで評価します。</p> <p>2 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において、観点ごとの総括的</p>						

	評価を行う。				
三 学 期	野菜の栽培と環境管理 7 果菜類の育苗 8 葉菜類の育苗 9 セル成型苗の育成 これからの野菜経営 1 野菜生産の経営的特徴 2 野菜の流通の仕組みと販売 3 作業体系の改善 4 これからの野菜生産と経営	1 2 3	・育苗の基本的な方法を学び、それぞれ（果菜類苗、葉茎菜類苗）の管理方法を理解する。 ・これまで学んだ野菜栽培から、これからの野菜生産の課題を見つけ、経営としての野菜栽培を理解する。	・栽培の基本である播種から育苗にかけての作業に取り組む、農業の他の分野での活用を考えます。	学年末 考查
【課題・提出物等】 1 授業中に使用するプリント、ノートを各段階で提出します。 2 実験・実習についてはレポートを作成し、自己評価を行い、提出します。					
【三学期の評価方法】 1 毎時間の学習時間への取り組む態度や課題の提出状況と学習に取り組む態度や関心・意欲などで評価します。 2 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において、観点ごとの総括的評価を行う。					
【年間の学習状況からの評価方法】 ※各学期末における観点別評価を基に、それを総合して学年末に5段階の評定にまとめる。					

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	(1) 教科書を読むなどして予習をしましょう。 (2) 授業時間内の指導者の指示をよく聞き、指示された内容に集中して取り組む姿勢を持ちましょう。 (3) 地域の農業の状況も観察し、学校農場の栽培状況と比較し、異なる点については調べてみましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	(1) 座学においては、教科書・ノート・プリント綴り、実習においては、実習服など学習に必要な道具の準備を忘れないこと。 (2) 授業中の指導者の指示に従うこと。特に、実習においては注意されたことを守ること。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容	評価方法	
知識・技能	・野菜の栽培や利用など野菜に関する基礎的な知識を身につけ、草花の特性と生育環境の関係や育成の過程を理解しているか。 ・栽培や利用など草花に関する基礎的な技術を身につけているか。	・継続的な記録の有無（ノート）授業の中で使用するプリント ・草花の扱い方、農具の取り扱い ・プロジェクトレポート ・定期テスト
思考・判断・表現	・野菜の栽培管理の記録を分析し課題を多面的に考察しているか。 ・見出した課題を科学的にとらえて合理的に解決する実践的な能力を身につけているか。	・授業中で使用するプリント ・プロジェクトレポート（感想・考察）
主体的に学習に取り組む態度	・野菜の栽培や草花の社会的な役割など野菜と野菜学習に興味・関心を高めているか。 ・野菜の栽培に関するプロジェクトを主体的に行うなど課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的にとらえて合理的に解決しようとする実践的な態度を身につけているか。	・学習活動への参加の仕方や態度

3 担当者からのメッセージ

(1) 畑等での調査・観察、スケッチ、教室での講義、レポート作成、グラフ作成など様々な形態の学習を行います。
(2) 指示をよく聞いて、提出物は必ず出しましょう。また、学習道具や実習服などの学習に向けての準備するものを忘れないことが大切です。
(3) 1年次の「農業と環境」の栽培部門で学習した内容が、この「野菜」の授業でさらに深まります。体験的、科学的な学習をとおして、さらに知識と技術を身につける努力をしましょう。

畜 産	単 位 数	2 単 位
	学科・学年	農林技術 科 第 3 学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	(1) 家畜の飼育と経営に必要な知識と技術を習得させる。 (2) 家畜の特性や飼育環境を理解させる。 (3) 合理的な家畜管理と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。
使用教科書・副教材等	教科書：実教 「畜 産」 副教材：日本農業技術検定問題集

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学習のねらい	備 考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査
一 学 期	○家畜の飼育 (3) 酪農	4	・乳牛の特性について学ぶ ・乳牛の繁殖と飼育管理について学ぶ	畜産農家、J A, 獣医等との連携	中間 考査
		5	・乳牛の病気と予防衛生について学ぶ ・牛舎の付属施設や器具について学ぶ		
	(4) 肉用牛	6	・肉用牛の特性と経営形態について学ぶ ・肉用牛の品種と改良について学ぶ	畜産農家、J A, 獣医等との連携	期 末 考 査
		7	・飼育形態と施設・設備について学ぶ		
<p>【課題・提出物等】 考査毎にノート提出及び考査の訂正提出を行います。</p> <p>【第1学期の評価方法】 1 毎時間の学習時間への取り組む態度や課題の提出状況と定期考査等の成績などで評価します。 2 定期考査60%, 学習に取り組む態度や関心・意欲(忘れ物・遅刻・服装・出席・授業態度)30%, 提出物(ノート・レポート)10%の配分で行います。</p>					
二 学 期	(5) そのほかの家畜	7	・肉牛の生理と飼育技術について学ぶ	畜産農家、J A, 獣医等との連携	中間 考査
		9	・飼料の種類と給与について学ぶ ・肉用牛の衛生と病気について学ぶ		
	(6) 野生動物への対応	10	・肉牛経営とその改善について学ぶ	畜産農家、J A, 獣医等との連携	期 末 考 査
		11	・ウマ、ヤギ、メンヨウなどについて基本的なことを学ぶ		
12	・野生鳥獣害の原因と対策について学ぶ				
<p>【課題・提出物】 考査毎にノート提出及び考査の訂正提出を行います。</p> <p>【第2学期の評価方法】 1 毎時間の学習時間への取り組む態度や課題の提出状況と定期考査等の成績などで評価します。 2 定期考査60%, 学習に取り組む態度や関心・意欲(忘れ物・遅刻・服装・出席・授業態度)30%, 提出物(ノート・レポート)10%の配分で行います。</p>					

三 学 期	○畜産経営の改善	1	・畜産経営の収益構造、価格の変動、技術成績と収益などについて学びます	畜産農家やJAとの連携	学 年 末 考 査
		2	・経営の6次産業化、ブランド化、トレーサビリティ、農業生産工程管理（GAP）などについて学びます		
		3			
	【課題・提出物等】 考査後にノート提出及び考査の訂正提出を行います。				
	【第3学期の評点方法】 1 毎時間の学習時間への取り組み態度や課題の提出状況と定期考査等の成績などで評価します。 2 定期考査60%、学習に取り組む態度や関心・意欲（忘れ物・遅刻・服装・出席・授業態度）30%、提出物（ノート・レポート）10%の配分で行います。				
	【年間の学習状況の評価方法】 1学期の成績、2学期の成績及び3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。				

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	①授業をしっかりと聞き、重要な文章には赤線を引く。 ②ノートは大きな字で書く。 ③分からないところはそのままにせず、先生に聞きにくる。 ④疑問を持つこと。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	①座学では始まりのチャイムで着席しておくこと。 ②積極的に発言すること。 ③実習では、先生の注意や指示を厳守すること。 ④服装は正しく着用すること。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	体験的、継続的な飼育活動と観察、実験、調査、記録などの学習活動をとおして家畜の生理・生態的な特性や飼育環境及びそれらと生育の相互関係を理解し、飼育に関する基本的、体系的な知識と技能を習得したか。	・飼育活動や学習活動への参加の仕方 ・提出物 ・定期考査や実習態度
思考・判断・表現	体験的、継続的な飼育活動と観察、実験、調査、記録などの学習活動をとおして課題を多面的に考察し、家畜の生理・生態的な特性や飼育環境及びそれらと生育の相互関係を理解し、それらを活用して課題を適切に判断して、課題を科学的にとらえて合理的に解決する実践的な能力及び、家畜の観察や考察などを正確に表現できたか。	・飼育活動や学習活動への参加の仕方 ・提出物 ・配布資料の利用方法 ・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	家畜の飼育と経営の学習をとおして、畜産が人々の健康と生命に直結し、豊かな生活を提供する社会的役割を担っていることを理解したか。また、飼育の楽しさを体験して畜産に関する関心や意欲を高め、主体的に学習に取り組んだか。	・飼育活動や学習活動への参加の仕方 ・提出物 ・配布資料の利用方法 ・定期考査や実習態度

3 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的に管理する事で家畜の見方、扱い方および管理方法を学び、家畜に対する興味・関心を持ってもらいたい。 ・ 家畜の調査、観察、スケッチ、実験を通じて、家畜への理解を深め、今後の畜産について考えよう。 ・ 放課後や空き時間を利用して積極的にプロジェクト学習に取り組みましょう。

農業経営	単 位 数	2 単 位
	学科・学年	農林技術科 第3学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	1 農業経営について体系的・系統的に理解し、関連する技術を身につける。 2 課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 3 経営のマネジメントやマーケティングを自ら学び、農業振興や社会貢献に取り組む。
使用教科書・副教材等	農業経営 (実教出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学習のねらい	備考(学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査 範 囲
1 学 期	「農業経営」の学習について 農業の動向と農業経営 ア我が国と世界の農業 イ今後の農業経営と食料生産の方向 農業経営の組織と運営 ア農業経営の主体と目標 イ農業生産の要素 ウ農業経営組織の組み立て	4	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営の学習の意義や内容, 学習や評価の方法を理解します。 ・世界の農業の現状や世界と日本の農業の動向, 食糧の需給と貿易について理解します。 	出席・態度・意欲を評価します。	中 間 考 査
		5	<ul style="list-style-type: none"> ・農業・農村の機能と役割, 環境の保全, 消費の変化, 持続的農業の進展, 有機農産物, 農業経営の変化について理解します。 	出席・態度・意欲を評価します。	
		6	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営の目標, 生産と経営の要素, 経営組織, 経営部門の選択, 農業経営組織のなりたちと組み立て, GAPに関する内容を理解します。 	出席・態度・意欲を評価します。	期 末 考 査
		7			
2 学 期	エ生産組織と法人化 オ農業経営の運営 農業経営の会計 ア簿記の基礎 イ簿記の実際 ウ原価計算	9	<ul style="list-style-type: none"> ・生産組織, 農業法人経営, 経営者能力と管理運営, 農業経営の集約化, 経営の規模拡大について理解します。 	出席・態度・意欲を評価します。	中 間 考 査
		10	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記, 資産, 負債, 資本, 収益, 費用, 取引と勘定, 仕訳と転記, 仕訳帳と総勘定元帳, 試算表, 清算表, 決算について理解します。 	出席・態度・意欲を評価します。	
		11	<ul style="list-style-type: none"> ・債務, 資産・負債の種類と固定資産, 家族経営の資本, 収益・費用, 決算, 帳簿と伝票について理解します。 	出席・態度・意欲を評価します。	期 末 考 査
		12	<ul style="list-style-type: none"> ・内部活動と原価計算, 生産費と農家資産の評価, 複式簿記による原価計算, 原価計算の仕組みについて理解します。 		

3 学 期	農業経営の診断と設計 ア農業経営の診断	1	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営診断の要点と指標，経営診断の基準・方法，家族経営の分析と診断について理解します。 ・経営設計の手順と内容，経営設計の方法，マーケティングやGAPの活用，農業経営改善計画例について理解します。 	出席・態度・意欲を評価します。	学年末 考查
	イ農業経営の設計	2			
		3			

【年間の学習状況からの評価方法】
1学期の成績，2学期の成績及び3学期の成績を総合し，年間の学習成績とします。

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ① 始業のチャイムで授業を始める準備が整っているようにしよう。 ② 農業経営者の視点を持って授業を受けよう。 ③ 授業はしっかり聞き，復習をしよう。 ④ 新聞等で時事問題を考えるようにしよう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ① 忘れ物がないようにする。 ② 授業中は集中し，積極的に発言しよう。

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> (1) 教科書を読むなどして予習をしましょう。 (2) 授業時間内の指導者の指示をよく聞き，指示された内容に集中して取り組む姿勢を持ちましょう。 (3) 地域の農業の状況も観察し，多様な経営形態について学習しましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 座学においては，教科書・ノート・プリント綴り，実習においては，実習服など学習に必要な道具の準備を忘れないこと。 (2) 授業中の指導者の指示に従うこと。特に，実習においては注意されたことを守ること。

(2) 評価の観点，内容及び評価方法

皆さんの学習状況は，「知識・技能」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	農業経営に関する基礎的な知識や技術を身につけ，経営の順序立ての過程を理解している。	学習活動への取組 レポート 定期考查
思考・判断・表現	農業経営に関する課題を多面的に見だし，合理的に解決しようとする実践的な態度を身につけている。	学習活動への取組 レポート 定期考查
主体的に学習に取り組む態度	農業経営について興味・関心をもち，経営発展につながる自らの学びや意欲的に取り組む態度を身につけている。	学習活動への取組 提出物

3 担当者からのメッセージ

農業経営は，社会や経済等の時事問題にもつながる分野を含む科目です。新聞等を読むなどして幅広い視野を持ち，興味・関心を高めてください。